

エコが千代田の自慢です!



CES 通信

Vol.4 2020 冬号

千代田のエコを推進しよう!



持続可能な社会を目指し今取り組むべきこと ～環境講演会開催と地中熱フォーラムへの参加報告～

**CES環境講演会「持続可能な社会の担い手を育てる教育・学習(ESD)
—SDGs推進のエンジンであるESDを学ぶ—」開催
2019年9月13日(金) 会場:日本教育会館(参加者:約110名)**

第2回CES環境講演会は、日本環境教育学会会長で立教大学ESD研究所長の阿部治教授をお迎えし、今注目されている「持続可能な社会を目指すSDGsを推進するためのESD(持続可能な開発のための教育)」についてご講演いただきました。

講演は、現代の環境危機に対したつひとり立ち上がり、その後世界中に賛同を広めているスウェーデンの17歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんのことから始まり、ESG(環境・社会・企業統治)投資が世界中で推進され、CO₂削減を通じたテクノロジーの大きな変化が進んでいる時代であること、そして、SDGsについては、掲げられた17の目標についての説明と、それぞれの目標が相互に密接に関係しているため、推進する人材教育が重要であることなどが話されました。

最後は参加者全員がグループに分かれ今自分に出来るSDGsの取り組みについて発表しあい、盛況のうちに閉会しました。



SDGs(持続可能な開発目標)17の目標

**地中熱利用促進協会(笹田政克理事長・CES会員)主催
「全国地中熱フォーラム2019」への参加報告
2019年11月11日(月) 会場:きゅりあん(品川区総合区民開館)**

「持続的社会と地中熱最新動向」をテーマに、地中熱利用促進を目的としたフォーラムが行なわれました。

開催挨拶では、小池百合子都知事が「東京都の2050年温室効果ガス排出実質0宣言の下、世界一環境に配慮した『2020東京オリンピックパラリンピック』の開催に向け整備した『武蔵野の森総合スポーツプラザ』『オリンピックアクアティクスセンター』『有明アリーナ』は、地中熱利用により省エネルギー化を実現している」と発言され、地中熱のさらなる普及に注目したいところです。基調講演では、大学院大学至善館・幸せ経済社会研究所の松廣淳子氏が「SDGsの時代における地中熱の可能性」について講演し、世界では30兆6830億ドル(約3418兆円)に上る莫大な金額がESG投資に向かっており、すでに経済活動は環境配慮が欠かせないことなどをお話されました。企業講演では、小田原市の「鈴廣」が、かまぼこの里で行なっている再生可能エネルギー利用による地域全体での地産地消のエネルギーシステムについての発表を行いました。また企業展示には、熱交換用パイプの掘削機やヒートポンプなどの出展がありました。

CO₂削減に向けて、地中熱をはじめ再生可能エネルギーを社会にどう取り込む活動をすべきかを考えさせられる有意義な機会となりました。

理事長
だより

2019年度 秋の三題噺 ～9月以降の主な活動～

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 大森正之

昨年9月に第2回環境講演会「持続可能な社会の担い手を育てる教育・学習(ESD)」(13日(金);日本教育会館第一会議室;参加者110名)を開催しました。講演で、立教大学ESD研究所長の阿部治教授は、アジア太平洋地区での環境教育のアクションリサーチを踏まえて、企業やNGO等での環境教育の重要性を指摘されました。

また、同月には「前田建設工業ICI総合センター」見学

会(27日(金);参加11名)を、続く10月には「東京ガス田町スマートエネルギーセンター第Ⅱプラント」見学会(11日(金);参加者11名)を主催しました。

そして、11月にはCESとして初めて「東商千代田ビジネスフェア」(19日(火);ホテルグランドパレス2・3階)に参加し、他の参加企業・団体の皆様へ、私たちの活動全般の紹介と環境マネジメントシステム導入への勧誘を行いました。ご協力に感謝いたします。

VOICE
01

低炭素で災害に強いまちづくりに 「スマエネ」で貢献

東京ガス株式会社

当社は、クリーンな天然ガスを活用して低炭素で災害に強いエネルギーを供給するスマートエネルギーネットワークの構築を通じて、環境性・防災性に優れた持続可能なまちづくりに貢献しています。

熱と電気を地産地消するガスコージェネレーションシステムを核に、熱・電気・情報をネットワーク化。再生可能・未利用エネルギーの最大活用、ICTによるマネジメントにより、地域の特性に合わせた最適なエネルギーシステムを構築します。

2016年度省エネ大賞「経済産業大臣賞」を受賞した田町駅東口北地区をはじめ、豊洲埠頭地区、日本橋室町三丁目地区など首都圏の都市再開発を中心に導入が進んでいます。



田町駅東口北地区(開発イメージ)

VOICE
02

大都市の中心で “美味しい”を叫ぶ!!

CES個人会員 小松 将三

一匹一匹が役割を持つ、社会性昆虫のミツバチを間近で見たい、と辿り着いたのがCES養蜂プロジェクトでした。女王蜂や幼虫の世話をする蜂、門番や猛暑の中で巣の中を換気する蜂、そして蜜を採ってくる蜂など、それぞれの役割が目の前で繰り広げられます。そして、どこからこんなに集めてくるのか、鼻をくすぐるハチミツ。採れるごとにその風味は異なり、またどの時も美味しいこと!

ミツバチが植物の受粉になくてはならない、という自然の中の役割を再認識。意識しないと見えない、自然から得られる貴重な資源とその大切さが感じられる体験となり、環境保全の意識も高まりました。



養蜂プロジェクト活動中の小松氏(右)

MEMBER'S
VOICE

CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

VOICE
03

地域と大学が連携して SDGsの取り組みを推進

専修大学商学部長・教授(CES個人会員) 渡辺 達朗

2020年4月、専修大学商学部は創設の地である神田神保町のキャンパスに全面移転します。商学部では学位授与方針として「持続可能性と多様性の尊重」を掲げており、自治体、事業者、住民等と連携し、さまざまな環境・社会活動に取り組んでいます。私の授業やゼミでも、学生ができるSDGsの取り組みについてグループワークを行ない、紙やプラスチックゴミ、食品ロスの問題を中心にさまざまな提案にまとめ、できることから実行に移そうとしています。私自身も東京都の食品ロス削減の会議等に参画しています。これらは、CO₂排出量削減と密接にリンクする課題であり、今後もCESの一員として積極的に活動を担っていこうと考えています。



講義中の様子

VOICE
04

CES会員として 実現可能なエコ

CES個人会員 藤田 富紀江

私たちが常日頃実践できるエコを、「障害者福祉センターえみふる」の職員さんと、「高齢者センター」の方々にお尋ねしました。

それは「自身の持つ熱源を動かせること、歩くこと」だそうです。なるべくエレベーターは使用せず階段を使い、ひと駅くらいなら自然を感じながら闊歩する。部屋の電気は人がいないところでは消す。冬場は暖房をつける前に1枚服を着る。夏場は、千代田区で配布されたゴーヤでの日よけと、打ち水。たったこれだけのことで、気分爽快となり、CO₂の削減にも協力できます。

実践すれば一石二鳥、自分ができることを無理なく続けていきたいと、エコへの気持ちもさらに前進しました。



藤田氏

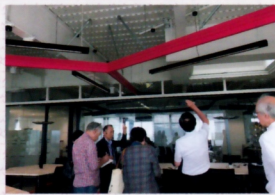
自然エネルギー利用施設見学会報告

前号で告知した2つの見学会を2019年秋に行ないました。それぞれ11名に参加いただき、皆さん興味を持って見学されました。

2019年9月27日(金) 茨城県取手市

前田建設工業株式会社「ICI総合センター」 [(I:孵化)×(C:育成)×(I:革新)]

当協議会の法人会員である前田建設さんのご厚意により、同社創業100周年記念事業の一環として昨年2月にオープンした日本初の総合イノベーションプラットホームICIを、会員有志が見学させていただきました。センター内の施設「Brain Camp」は学・職・食・住・遊のすべてをサポートする居住施設で、夢に向かうベンチャーを支えています。また彼らの業務拠点となる「エクスチェンジ棟」では、天井放射空調によるアンビエント空調と床吹出空調のタスク空調を組み合わせた「タスク&アンビエント空調方式」が採用されているなど、ZEB実現に大きな効果が期待され、その他にもさまざまな開発技術(協働開発技術・先進開発技術・共創開発技術)であふれています。



2019年10月11日(金) 田町駅東口北地区

東京ガス株式会社のスマートエネルギーネットワーク 「田町スマートエネルギーセンター第IIプラント」

見学会当日、「田町駅近くのどこに?」と不思議な気持ちで向かうとその施設は地下にありました。始めに施設の成り立ちを映像と解説で聞き見学へと進みました。

ガスエンジンCGS(ガスコージェネレーションシステム)は都市ガスから電気をつくり周辺ビルへ供給するシステム。大きな発電機があり大迫力でした!さらにその際に出る排ガスの熱を利用し、蒸気で冷水や温水に変換して空調に使用、屋外デッキの屋根には太陽光でつくられた温水が管を通して流れ、それも冷暖房・給湯に利用されるなど、プラント内で無駄にすることのない「エネルギーの地産地消システム」に驚きました。災害時の大規模停電等のリスクを減らし街を守る。将来、このような施設を備えた街が増えたらいいなと感じました。



「東商千代田ビジネスフェア」初出展

当協議会は、2019年11月19日(火)にホテルグランドパレス2Fで行われた東京商工会議所千代田支部主催の「東商千代田ビジネスフェア」に初めて出展しました。

多くの区内の企業や団体の出展・来場が想定できるため、事業者を対象とした環境マネジメントシステムのPRがテーマです。

また、根本的な仕組みとして、《千代田エコシステム(CES)》が、千代田区の地球温暖化対策条例により、「区」が区内の「事業者」や「区民(通勤者や訪問者を含む)」への普及を促進しているものであることも紹介しました。

来場者は絶えることがなく、足を止めて話をきいてくださる方や逆にいろいろな話をしてくださる方もあり、千代田エコシステムの存在をアピールできたのではないかと思います。100を超える出展者同士での交流も有意義なものでした。

今回出展したことによって、単なる広がりだけではなく、協働への足掛かりがみつかりました。さらに、今後の方向性や課題も見え、実りある出展となりました。



千代田エコシステム監査・認証(クラスⅢ)の表彰施設について

2019年10月7日(月)に開催された認証委員会で、千代田区の関連施設79カ所と、障害者福祉センターえみふる・内幸町ホール・社会福祉協議会(いずれも指定管理者がCES活動を行っている区立施設)のCES監査結果に対する審査と認証が行われ、活動内容を高く評価された「ふじみこども園」が前年度に引き続き表彰対象施設として判定されました。

職員全体の環境意識が高いこと、毎月発行の「園だよ

り」や掲示板を活用した保護者への積極的な啓蒙活動、自作DVDによる園児への食育などが表彰理由となりました。

2020年1月16日(木)に対象施設を訪問し、当協議会の大森理事長より記念品を贈呈しました。



「ふじみこども園」
左:CES大森理事長、右:桑原淳子園長

「環境配慮宣言」キャンペーン参加店による「くじ付きうちわ」配布終了

節電やゴミの減量など日常的なCO₂排出量削減を目的に「環境配慮宣言」に取り組んでいただいている個人事業主の皆さんが、昨夏も暑い中、「環境くじ付きうちわ」の配布を頑張ってくださいました。

今回の景品は、「海や川のプラスチックごみ削減のためのレジ袋廃止」をテーマに、オリジナルエコバッグをご用意しました。ご来店のお客様がとても喜んでくださったという感想もいただきました。

次年度も千代田区のCO₂削減のために奮ってご参加くださいようお待ちしております。ご協力いただきまし

たお店には「環境に配慮したお店です!」と書かれたステッカーが貼ってありますので探してみてください。

キャンペーン参加店(順不同)37店舗:

Tea House TAKANO、天ぶらはちまき、文銭堂、桔梗屋電機、ゴンドラ、宝来屋、オギムラ薬局、寿々木、トニーローマ、巨牛荘、エコツェリア、ミツ木園、2×3スリーレック、プラットフォームサービス、しまゆし、ちよだいちば、出世不動通り商店会、神田木花、LampLight、珈琲専門店エース、越後屋、Rose Crown、もじ焼や、ベンガル、香文堂、旭軒、神田丸屋、リズム靴店、淡平、朝日電機商事、伊呂波、昭和薬局、からだ工房、佐々木商事、いく代寿司、千寿、カーサノーヴァショップ

後援:千代田区 協賛企業:株式会社大塚商会



「エコ&サイクルフェア 千代田のエコ自慢2019」開催報告

2019年11月2日(土)に、千代田区役所1階区民ホールと4階会議室で「エコ&サイクルフェア 千代田のエコ自慢2019」(主催:千代田区/(-社)千代田エコシステム推進協議会)を開催しました。当日はお天気にも恵まれ、163名もの方々にご来場いただきました。

今回は、海も森林もない千代田区で、海や森林の大切さを感じてもらうための第一歩として、NPO法人日本渚の美術協会さん(貝殻ワークショップとパネル展示「美しい海を未来に!」)と、一般社団法人東京都森林協会さん(ワークショップ「東京にも森があるよ!『東京の木』を楽しもう!」)に初出展をお願いし、ご来場いただい

た多くの方からご好評をいただきました。

毎年恒例の「地中熱を学ぼう」「リサイクル振袖ドレスのスタイリングショー」「ハーブで石けんをつくろう」「毛糸のクリスマス・オーナメント」「容器を通してできる環境・福祉・教育」「アルミホイールでエコしよう」「エコぴよんの十八番」「CESエコクローゼット」「CES環境クイズ」も好評のうちに無事終了しました。



海からの漂着物で作った作品



ミツバチたちのいま

昨秋は台風も多く、冬も控えていたため早めに越冬を始めました。春になり、花が咲き乱れる季節になりましたら、また楽しい蜂たちの様子をお伝えします。

今年4年目を迎える「CES養蜂プロジェクト」、生産目標のハチミツ200kgも達成できました。本年も引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

●5/23(土)・24(日)

千代田区主催「つま恋の森植樹ツアー」

区主催の群馬県嬭恋村の植樹活動への参加協力

●6/12(金)「ちよだ環境まつり」

環境月間イベントへのブース出展

●8/3(月)

千代田区の江戸しぐさ「打ち水月間」のオープニングセレモニー

8月中の平日は、ほぼ毎日千代田区役所前をはじめ、各町会や事業所で恒例の「打ち水」を実施しています。積極的に参加しましょう。

※イベントの予定・詳細は決まり次第HPにてご案内します。イベントへの参加、または、サポートボランティアとしてスタッフ体験をご希望の方は、HPで詳細をご覧ください。皆さまのご参加、お待ちしております。

2020年度
開催予定の
イベントの
ご案内



Vol.4 2020 冬号

発行・編集: (-社)千代田エコシステム推進協議会
発行日: 2020年2月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所: 〒102-8688

千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 5階

電話: 03-5211-5085 FAX: 03-3221-3405

メール: info@chiyoda-ces.jp

URL: https://chiyoda-ces.jp

